

J A岩手ふるさとピーマン栽培管理指導会補足資料

令和6年8月19日－30日

東北地方 1か月予報		
2024年08月15日 14時30分 仙台管区气象台 発表		
特に注意を要する事項	期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 07/20～08/19	天候	東北太平洋側では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率80%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

共通

○気温・地温・日射量どれも高く（多く）それによる障害が発生しています。

障害の例：花落ち、実の肥大が遅い、内枝が伸びにくいなど。

かん水量を今一度確認しましょう。日射量1に対して、194ml/株のかん水が必要です。8月の積算日射量の平均は19ですので、

1日あたり $19 \times 194 \text{ ml/株} = \text{約 } 4 \text{ l/株}$ のかん水量が必要です。参考：1

○高温多湿条件が続いており、多くの種類の病害が発生しております。それぞれに適応する農薬を散布しましょう。

斑点病：ダコニール1000やカスミンボルドー

炭そ病：ダコニール1000やシグナムWDG 参考：2

○降雨後にトロケ（軟腐）が発生しております。

発生を減らすためには、週に1度のタバコガ防除と殺菌剤（カスミンボルドーやダコニール1000など）の散布が必要です。特に今年はタバコガの発生が多い為、こまめな防除が必要です。また、食害がない時期でも安心せずに防除を行いましょう。タバコガの食害がない時期には、次の世代の卵が果実についていることが多く、35℃の条件の場合には産卵から1週間以内に食害を行うことを確認しております。

○今後、多くの果実を肥大させる必要があります。追肥は間隔を狭くするか、倍率を濃くしましょう。参考：3

○たれ枝は除去しましょう。株全体の勢いを停滞させます。また、たれ枝についた実は、収穫時は緑でも、収穫後急激に赤くなります。勿体ないという意識はなくしましょう。

○ひび割れ果は出荷しないようにしましょう。

参考：1 かん水の目安

先週1週間（8月10日～8月16日）のピーマン1株当たり日別かん水の目安は、

日量
3.7
ℓ/株
でした。

先週1週間の積算日射量平均は、

19.1
MJ/m²
でした。

- ・上記かん水量は、前週のピーマンが、1株当りに日別で必要としたかん水量の平均値です。前週の必要かん水量を基に、今週のかん水量を検討して頂く際の、目安としてお知らせするものです。
- ・前週1週間の積算日射量、1MJ/m²に対するかん水量から算出しています。
- ・基となる積算日射量は、胆沢小山での値です。
- ・上記はハウス作型でのかん水量ですが、露地もおおむね同量を必要かん水量とします。
- ・かん水量を決定する際は、当日の天気や土壌の状況、圃場の土質などを考慮しましょう。

参考：2 炭疽病



果実・葉に被害が発生する。果実では、初め水浸状の小斑点ができ、褐変し、へこんだ病斑となる。

露地栽培で発生が多く、梅雨明けごろから発生し、盛夏期～秋雨のころまで発生する。罹病した果実などは、早めに除去し施設の外へ出して処分する。雨滴により土壌のはね上がりから感染する。

整枝により繁茂しないよう管理する。罹病果実・葉を圃場に放置しない。

参考：3 追肥量

生育ステージ	！おすすめ！		
	10aに対して毎日追肥する場合のスーパーノルチッソの量（g）	10aに対して2日おきに追肥する場合のスーパーノルチッソの量（g）	10aに対して3日おきに追肥する場合のスーパーノルチッソの量（g）
内枝整理～2回目のピーク準備	600	1,200	1,800
～3回目のピーク準備	800	1,600	2,400
肥大の落ち着き～枝の生育旺盛	650	1,300	1,950
生育後期	250	500	750

